

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年4月27日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費に回復の動きが見られるものの、総じて見れば横ばい圏内の動きといえる。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を上回った。(2月)
新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額、乗用車新車新規登録台数は前年を下回った。(3月)
- **産業面**・・・一部に回復の動きがみられる。
鉱工業生産指数が電気機械工業等の増により前月を上回った。(2月)
- **雇用面**・・・横ばいから弱い動きとなっている。
現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(2月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(3月)

○需要面の動き

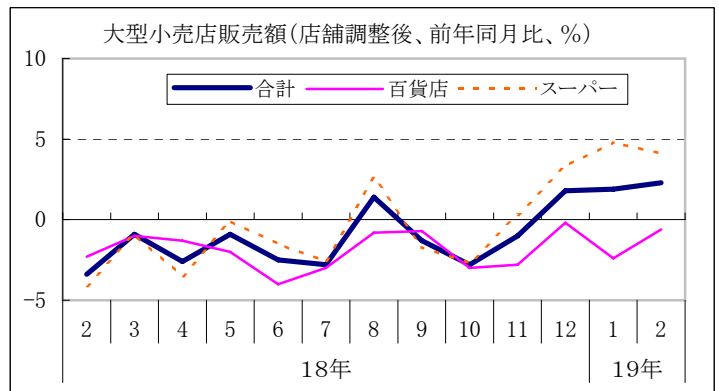
大型小売店販売額(2月)

全店舗の販売額は、49億6,996万円(前年同月比2.3%増)と3か月続いて前年を上回り、店舗調整後でも3か月続いて前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	496,996	2.3 (2.3)
百貨店	185,198	▲0.6 (▲0.6)
スーパー	311,798	4.1 (4.1)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(2月)

27億478万円(前年同月比8.1%増)と4か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(3月)

3,895台(前年同月比11.8%減)と9か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、小型車の減少(前年同月比20.6%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(3月)

256戸(前年同月比20.8%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比69.0%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(3月)

4億4,710万円(前年同月比66.2%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、製造業用(前年同月比90.0%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(3月)

80億700万円(前年同月比44.9%減)と2か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減(前年同月比43.5%減)が大きな割合を占めた。

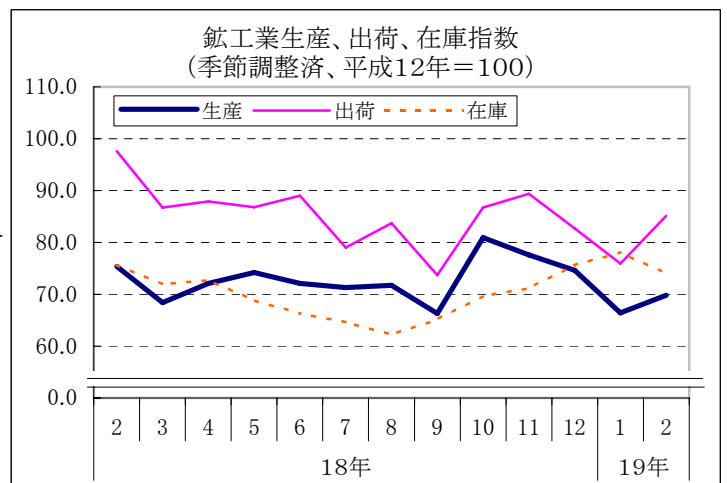
○産業面の動き

鉱工業指数(2月)

生産指数(季節調整済)が69.8となり、前月比は5.1%上昇し、原指数では64.9となり、前年同月比で8.5%低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が携帯電話等の生産増により12.9%上昇、食料品・たばこが3.1%低下、一般機械が2.7%上昇、繊維が13.9%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は74.0と前月比5.2%低下した。



大口需要電力実績(2月)

127,963千kwh(前年同月比1.1%減)と5か月ぶりに前年を下回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり1.9%増加した。

青果物卸売量(3月、鳥取市場)

野菜が1,454t(前年同月比4.6%減)と2か月続いて前年を下回り、果実は764t(前年同月比11.9%減)と10か月続いて前年を下回った。

漁獲量(3月、境港)

12,275t(前年同月比418.8%増)と8か月続いて前年を上回った。

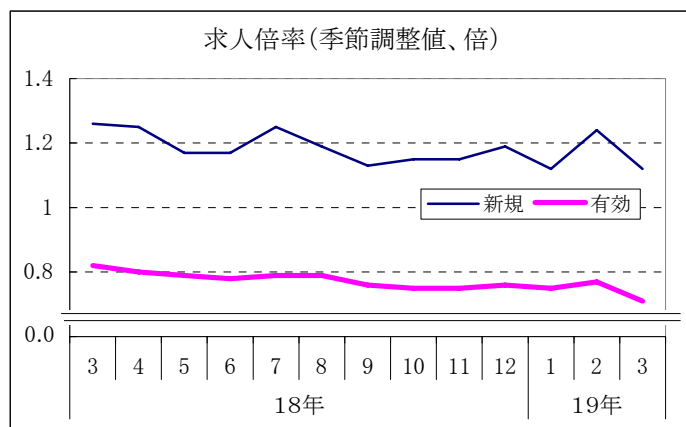
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(3月)

1.12倍(前月差0.12ポイント低下、前年同月差0.14ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,127人で前年同月比17.2%の減であった。

有効求人倍率(3月)

0.71倍(前月差0.06ポイント低下、前年同月差0.11ポイント低下)と9年1か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(2月)

251,315円(前年同月比0.4%減)と8か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、249,714円で8か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(2月)

9.2時間(前年同月比6.6%減)と2か月続いて前年を下回った。主力の製造業は10.6%減となった。産業別の前年同月比では、情報通信業(前年同月比53.5%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比48.1%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(2月末)

預金残高は、1兆8,343億円(前年同月比1.7%増)と6か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,644億円(前年同月比2.5%減)と6か月続いて前年を下回った。

○参考

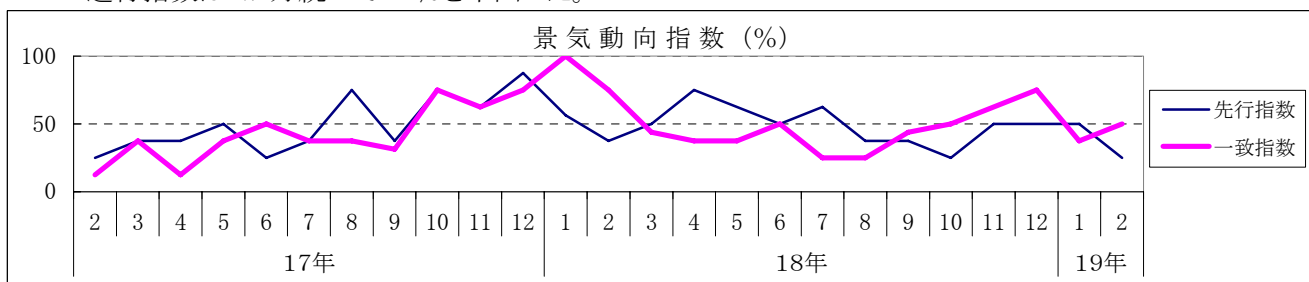
鳥取県景気動向指数(2月)

先行指数25.0%、一致指数50.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は4か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は前月50%を下回ったが、50%となった。

遅行指数は2か月続いて50%を下回った。



企業倒産(3月)

件数は4件(前年同月比20.0%減)で2か月続いて前年を下回り、負債総額は8億3,000万円(前年同月比54.4%減)で2か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(3月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.7となり、前月比(0.2%上昇)は2か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.7%下落)は7か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(4月1日現在)

600,209人で、前月と比べて2,508人(0.42%)減少し、前年同月と比べて3,468人(0.57%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年2月調査)

平成19年4~6月期は、平成19年1~3月期に比べると景気はやや好調であるが、売上高、経常利益はやや不調となる見通しとなっている。